建設 部 道路建設 課

田町村名 田町	分野		補卵	記的な道路	の整備	事業番号	86	事業名		県単道	路改築		
近年度の	市町村名	١	田市		(国) 1 4 3 号			ました吉田	事業年度 (完了年度は見込る	#)	H24 年度~		H28 年
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日			道路拡幅工	L = 200m	W = 6.5 (12.0) m					H23年度末	事業進捗率		0 %
1924年度	H24年度以	人 降残実施内	容同上						:	本工事費等	手ベース		0 %
事業会計千円				一式									0 %
国国を出産 0	年	度	全位	体事業費	H22年度まで		Н	23年度	H2	4年度		H24年原	度以降残
安の	事業費				0			0	7	,000		200),000
			·										
一般観響 170,000 0 5,550 172,000 172	内 訳						-						
計画交通量						0		5					
1892年 1893年 18		評価項目·指標等					評	価				ンク	評点
(計画交通量			4,000台/日以上				1,500台	1 , 500台未満			4
# 大い17-7		代替道路			唯一の道路である								0
(30)					バス路線である		または 点や支	は 役場と交通結節 ヘスズロニ該当しない			:61		5
1	必要性				ボトルネック箇所		ボトルネ	ック箇所でない				Δ	0
日事業特有の必要性(安全の確保) 日事業特有の必要性(安全の確保) 日期からの問題 日期が知り、 日本を行動したいる 日期があるの思想性(医療・福祉) 日本の注めのよりの問題 日期が知り、日本の注めのよりには、日本の対象がある。また、活動、温やのための過程としてはない。 日期が知り、日本の主のの見に説明。日期が知い、中には、日本の対象が発生が形が記録した。 日本の注めのよりには、日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が発生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録した。日本の対象が表生が形が記録といい、中には、日本の対象を表生に対象を表述を表現を表生に対象を表生に対象を表述を表現を表生に対象を表述を表現を表生に対象を表述を表現を表生に対象を表述を表現を表生に対象を表述を表現を表生に対象を表述を表現を表生に対象を表述を表現を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表します。またが表記を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表します。またが表述を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報を表しているが思報と表しているが思報を表しているが思報と表しているが思報を表しているが思述といるが思述といるが思述といるが思述といるが思述といるが思述といるが思述といるが思述といるが思述といるが思述される表もいるの思えらいの思えらいの思えらいの思えらいの思えらいの思えらいの思えらいの思えらい	(30)							に通じる道路で				А	2
報告の 日本の 日本		各事業特有の必要性(安全の確保)			又は8%以上(幅員、 径、勾配)	半	4.0m以上5.5m未凋(幅 員)		رياااد.د	` '			0
####################################					者との分離を図る	この分離を図る あるものを再整備		者との分	者との分離がなされてい			2	
		他事業との)関連		速道などの事業に関								10
(10		小 計									23		
他域の法的な位置付け	重要性	設計上の3	環境·景観配慮			h	いるが確実性が低い					C	0
	(10)	地域の法的な位置付け				.位	地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位		#± 01 +\ /-	特別な位置づけはない			3
カキ性			小	計									3
(1/12 以降残事業年数		費用対効果			B / C (3便益)1.0以	. 上	(3便益以外の観点から- B/C(3便益)1.0未		ミ満		5		
(20) コスト編減 してコスト編減を実施してい 。	効率性				事業年数 3年以内		事業年	枚 4年~5年以内	年~5年以内 事業年数 6年以上		:	В	5
歌急性 安全性の向上 交通事故や落石等の危険	(20)				いてコスト縮減を実施して		いてコスト縮減を実施してい		コスト縮減はしていない		ない		0
繁急性 安全性の向上			小	<u></u> 計	.		ව.						10
各事業特有の緊急性(医療・福祉) 医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の ない道路 できる道路(スック箇所の がい	緊急性	安全性の「	 句上			英田争取 P 洛口寺の心内 第所の安全を向 F させる							6
日事業得有の繁急性(医療・倫性) により関係を	, aa \	6 = W4+		A= 4= 41 ×	医療・福祉の連携が発	揮	医療・福祉の連携が発揮				と と	В	
計画 地域からの要望 地域住民の内発的な要 市町村からの要望 特に要望がない 解係者以外に広く周知 関係者中心に周知 特に周知していない 在民が計画策定に直接 住民や市町村の意見を 計画策定に反映 だいない か 計	(20)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				rw			ない道路				6 12
製成度	計画	地域からの				要	市町村からの要望		特に要望	がない			7
(20) 住民参加の状況 住民が計画策定に直接 住民や市町村の意見を 特に住民意見は反映し		事業情報の共有				140			特に国知	ルフいか	1	Δ	5
### ### ### ### #####################												, ,	
費用対効果(B/C) 3.3 評価の合計 B 事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 本路線は松本市から上田市の(国)18号パイパスへ接続する道路である。また、通動、通学のための道路として活用され交通量も多い。本線に接続する市道が拡幅改良されることにともない交通量が増加し、交差点付近における事故の発生が危ぶまれるため、交差点改良を行いが非常である。要望経 中元自治会と、現地調査を実施した。右折レーンの設置や視距改良等の交差点改良に関する要望が強い。 事業説明等の経緯 上田市や地区役員に説明。 環境・景観への配慮項目 特になし。 他事業・プロジェクトとの関連 特になし。 地域の合意形成 全員賛成 概ね賛成 過半数賛成 動向不明 その他 平成23年度 地元自治会と、現地調査を実施した。右折レーンの設置や視距改良等の交差点改良に関する要望が強い。 「特になし。」 「地域の合意形成 全員賛成 概ね賛成 過半数賛成 動向不明 その他 平成26年代が初められる	(20)	止氏梦川(±1			計画策	定に反映					4
事業実施に至る歴 中部線は松本市から上田市の(国)18号パイパスへ接続する道路である。また、通動、通学のための道路として活用され交通量も多い。本線に接続する市道が拡幅改良されることにともない交通量が増加し、交差点付近における事故の発生が危ぶまれるため、交差点改良を行いが 事業説明等の経緯 上田市や地区役員に説明。 中元23年度 地元自治会と、現地調査を実施した。右折レーンの設置や視距改良等の交差点改良に関する要望が強い。 「現場・景観への配慮項目 特になし。 「日本道拡幅事業 「日本道拡幅事業 日本道域の一般である。また、通動、通学の支差点改良と前 「日本道域の一般である。また、通動、通学の大部ので表点改良と前 「日本道域の一般で表点改良と前」 「日本道域の「日本道域の一般で表点改良と前」 「日本道域の「日本道域の一般で表点改良と前」 「日本道域の」」」「日本道域の「日本道域の」」」「日本道域の「日本道域の」」」「日本道域の「日本道域の」」」」「日本道域の」」」」「日本道域の「日本道域の」」」」「日本道域の」」」「日本道域の」」」「日本道域の」」」「日本道域の」」」「日本道域の」」」」「日本道域の」」」」「日本道域の」」」」「日本道域の」」」」「日本道域の」」」」「日本道域の」」」」」「日本道域の」」」」」「日本道域の」」」」「日本道域の」」」」」「日本道域の」」」」「日本道域の」」」「日本道域の」」」」」「日本道域の」」」」「日	弗田汁汁	田(P/C)	小		2.2	**	T /#	Λ ⇔ ≐¹				D	16
同意	事業実施 史的経緯	に至る歴		市から上田市	 の(国)18号バイパスへ接続す	る道路で	である。ま	た、通勤、通学			 され交通量も	多い。	行いたい。
事業説明等の経緯 上田市地区役員に説明。 環境・景観への配慮項目 特になし。 性忠事業・プロジェクトとの関連 上田市道拡幅事業 特になし。 地域の合意形成 全員賛成 概ね賛成 動向不明 その他 文差点付近での事故発生が想定されるため、市道改良に併せ交差点改良と前 政策評価課 政事性が認められる	地域からの要望経												
慮項目 (村になし。) 他事業・プロジェクト との関連 特に事項 特になし。 地域の合意形成 全員賛成 概ね賛成 動向不明 その他 交差点付近での事故発生が想定されるため、市道改良に併せ交差点改良と前 政策評価課 必要性が認められる		等の経緯	上田市や地区	役員に説明。									
との関連 十日のを加加事業 特記事項 特になし。 地域の合意形成 全員賛成 概ね賛成 動向不明 その他 文差点付近での事故発生が想定されるため、市道改良に併せ交差点改良と前 政策評価課 必要性が認められる	環境·景智 慮項目	見への配	特になし。										
地域の合意形成 全員賛成 概ね賛成 過半数賛成 動向不明 その他 文差点付近での事故発生が想定されるため、市道改良に併せ交差点改良と前 政策評価課 必要性が認められる	他事業・スとの関連	プロジェクト	上田市道拡幅	事業									
交差点付近での事故発生が想定されるため、市道改良に併せ交差点改良と前 政策評価課 _{必要性が認められる}													
	地域の合	意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数	賛成 「	動向不明	1	そ	の他	
	部意見				るため、市道改良に併せ交差。	点改良と			要性が認められ	าる.			